

東京防災隣組

第三回認定団体活動事例集



東京都

INDEX 【目次】

部門Ⅰ 地域住民間の連携

佃二丁目3・4・5号棟防災委員会（中央区）	P6	柴又地区連絡会（柴又北野町会、ガーデンプラザ柴又自治会）（葛飾区）	P14
西戸山タワーガーデン防災隊（新宿区）	P6	東部地区連合町会（八王子市）	P14
表町町会、富坂二丁目町会（文京区）	P7	りんりんの会（武蔵野市）	P15
白鬚東地区自治会連合会（墨田区）	P7	ルネ吉祥寺防災会（武蔵野市）	P15
大崎ウエストシティタワーズ自治会（品川区）	P8	井口協和会（三鷹市）	P16
久が原東自治会（大田区）	P8	沢井二丁目自治会（青梅市）	P16
糀谷地区自治会連合会（大田区）	P9	相原中村町内会自主防災隊（町田市）	P17
多摩川ハイム自治会（大田区）	P9	前原町四丁目町会自主防災会（小金井市）	P17
山王三・四丁目自治会（大田区）	P10	貫井南町東自主防災会（小金井市）	P18
天沼地区町会連合会（杉並区）	P10	三沢台自治会自主防災会（日野市）	P18
高島町会、高島平三丁目町会、高島平三丁目自治会、赤塚河岸町会（板橋区）	P11	青柳一丁目地区災害時要援護者支援協議会（国立市）	P19
桜台親和町会（練馬区）	P11	銀行町親和会（狛江市）	P19
田柄町会（練馬区）	P12	馬引沢自治会（多摩市）	P20
上久保町会（練馬区）	P12	平尾分譲住宅自主防災組織（稲城市）	P20
綾瀬東町会（足立区）	P13	荒屋敷自治会（西東京市）	P21
中川地区安全対策会議（防火防災部）（足立区）	P13		

部門Ⅱ 地域住民と地域コミュニティ・事業者等との連携

麻布小地区防災協議会（港区）	P24	特別養護老人ホーム西水元ナースィングホーム、西水元 込谷町会（葛飾区）	P27
東親会（品川区）	P24	立川市自治会連合会（立川市）	P27
西宮中学校震災救援所運営連絡会（杉並区）	P25	南町防災ネットワーク（武蔵野市）	P28
馬橋小学校震災救援所運営連絡会（杉並区）	P25	コミュニティ協議会 まちづくり昭島北（昭島市）	P28
田端地区防災会議（北区）	P26	第三小学校地区まちづくり協議会（旧名称 上石原ま ちづくり協議会）（調布市）	P29
宮元町会（板橋区）	P26	多西地区防災・安心地域委員会（あきる野市）	P29

はじめに

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の教訓を踏まえ、東京の防災力を向上するために、平成24年11月、都は5年ぶりに「東京都地域防災計画」を修正いたしました。首都直下地震に備え、災害に強いまちづくりを実現するためには、行政による「公助」のみならず、地域住民による「自助」「共助」の果たす役割がとりわけ重要です。

こうしたことから、都は、大都市東京における共助の仕組みとして、地域において意欲的な防災活動を行う団体を「東京防災隣組」として認定し、その取組を広く社会に発信し、地域の防災活動の活性化を図っています。

今般、43の団体を第三回東京防災隣組として認定いたしました。第一回、第二回と合わせて合計143の団体が東京防災隣組になりました。

本事例集は、第三回認定団体の取組をまとめたもので、地域の町会が合同で行う大規模な防災訓練、住民同士の「顔の見える関係」を重視した組織づくりなど、様々な活動を紹介しています。

本事例集により、都内各地で防災活動を行っている皆様の今後の取組の一助となれば幸いです。

平成26年4月

東京都総務局総合防災部

部門Ⅰ 地域住民間の連携

区市町村名	団体名	取組内容
中央区	佃二丁目3・4・5号棟防災委員会	近隣の集合住宅が連携して行う防災活動
新宿区	西戸山タワーガーデン防災隊	高層マンションにおける共助体制の確立 ～大災害でも安心して住み続けられるマンションを目指して～
文京区	表町町会、富坂二丁目町会	備蓄品・防災用具の「見える化」や「防災なんでも相談会」など住民 主体で独自の取組を推進
墨田区	白鬚東地区自治会連合会	木密地域の防災拠点として ～発災対応型防災訓練の取組～
品川区	大崎ウエストシティタワーズ自治会	「地震災害用ハンドブック」の作成 ～高層マンション内の防災対策とコミュニティづくり～
大田区	久が原東自治会	「高齢者・おてつだい隊」と防災マップで災害時要援護者を支援
大田区	糎谷地区自治会連合会	自治会・町会の地域力を結集した「防災のまち糎谷」
大田区	多摩川ハイム自治会	「元気カフェ」や「歌声喫茶」で災害時要援護者と顔の見える関係づ くり
大田区	山王三・四丁目自治会	実践的な防災体制の構築と「防災絵本」などの啓蒙活動
杉並区	天沼地区町会連合会	地区の町会が連携した地域ぐるみの防災対策
板橋区	高島町会、高島平三丁目町会、高 島平三丁目自治会、赤塚河岸町会	中学生と地元町会・自治会が連携した災害時要援護者支援と避難 所運営の取組
練馬区	桜台親和町会	みんなで助かろう・助けよう ～防災行動力を向上し減災を目指す～
練馬区	田柄町会	私設消火栓を活用して実施する町会合同防災訓練
練馬区	上久保町会	ミニ防災井戸を活用した初期消火能力の向上
足立区	綾瀬東町会	「心構え」「いざというときの行動」「日頃の備え」を軸に、地域防災 力向上を目指す
足立区	中川地区安全対策会議(防火防災 部)	私たちの力で安全・安心なまちづくり ～防災マニュアル作成やまち歩きなどを通じて～
葛飾区	柴又地区連絡会(柴又北野町会、 ガーデンプラザ柴又自治会)	町会、マンション、学校、PTAが連携して取り組む防災活動

区市町村名	団体名	取組内容
八王子市	東部地区連合町会	各町会の組織力を結集した大規模な防災訓練
武蔵野市	りんりんの会	ご近所同士の安否確認 ～命を守る助け合いの取組～
武蔵野市	ルネ吉祥寺防災会	被災時におけるマンション内での生活継続への取組
三鷹市	井口協和会	オリジナルの防災マップと避難訓練 ～住民目線で避難行動を考える～
青梅市	沢井二丁目自治会	無線機とソーラーパネル電源と連絡体制により安否確認を確実に 実行
町田市	相原中村町内会自主防災隊	隣近所のネットワークづくりから生まれた「顔の見える防災」
小金井市	前原町四丁目町会自主防災会	「災害時行動マニュアル」で、自ら行動し、地域を守る
小金井市	貫井南町東自主防災会	守りたい人を守る地域づくり ～災害時避難行動要支援者支援や初期消火などの取組～
日野市	三沢台自治会自主防災会	継続的な防災訓練や防災マップの更新で災害に強いまちづくり
国立市	青柳一丁目地区災害時要援護者支援協議会	地域をリードする災害時要援護者の避難支援活動
狛江市	銀行町親和会	継続的な防災訓練や地域の資源を活用した、住民同士の強い結び つきを目指した関係づくり
多摩市	馬引沢自治会	文化・スポーツ活動を通じて助け合える環境を醸成し、地域防災力 を向上
稲城市	平尾分譲住宅自主防災組織	住民で作り上げた安否確認の仕組みと防災資機材の活用
西東京市	荒屋敷自治会	まちぐるみで長年にわたり防災活動を継続

佃二丁目3・4・5号棟防災委員会（中央区）

近隣の集合住宅が連携して行う防災活動

【取組概要】

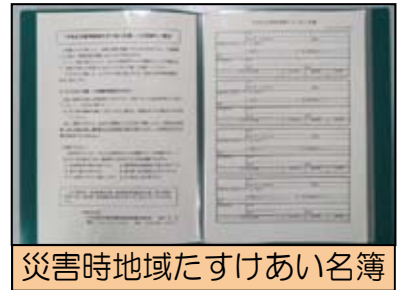
- 各自治会で防災活動に取り組みつつ、20年前から年に1回、3つの自治会が一体となり合同訓練を実施
- 合同訓練では初期消火や応急救護、安否確認などのほか、3つの自治会が輪番で大規模な炊き出しを実施
- 東日本大震災時は「災害時地域たすけあい名簿」を基に、各棟において、同時並行で名簿掲載の全世帯の安否確認を円滑に実施



合同防災訓練



合同防災訓練(炊き出し訓練)



災害時地域たすけあい名簿

西戸山タワーガーデン防災隊（新宿区）

高層マンションにおける共助体制の確立 ～大災害でも安心して住み続けられるマンションを目指して～

【取組概要】

- マンション自治会と管理組合が協力して「防災隊」を組織化。居住者への防災の情報提供や、防災備品の整備、防災訓練などを企画・実行
- 全戸に「無事です」のマグネットシートを配布。各戸の玄関ドアに常備し、災害時に無事の際には表に提示することを意識付け
- 災害時要援護者等への「サポートプラン」を随時実施（要援護者把握、平時の声かけ、避難計画などの個別プラン作成等）



階段避難車操作訓練



玄関扉に貼った「無事ですシート」



防災訓練ポスター

表町町会、富坂二丁目町会（文京区）

備蓄品・防災用具の「見える化」や
「防災なんでも相談会」など住民主体で独自の取組を推進

【取組概要】

- 避難所の備蓄倉庫、町会の防災倉庫、2人暮らしの最適備蓄物資を一挙に小学校のグラウンドに広げて「見える化」を実施
- 災害時の「使い勝手」の視点から備蓄倉庫をレイアウト変更
- 町会独自の備蓄庫パンフレットを作成、配布
- 1,200世帯に実施した防災アンケート結果を基に、「防災なんでも相談会」を開催。アンケートでの質問事項などに答えるほか、個別相談も実施
- 防災活動は、「礫川おやじの会」と力を合わせて取り組み、パワーアップを図る



「備蓄の全て！」をグラウンドに広げる



「使い勝手を！」考えて配置



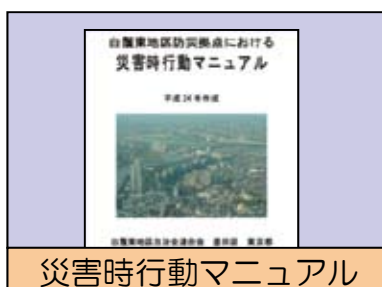
「こんにちは！」見守り隊

白鬚東地区自治会連合会（墨田区）

木密地域の防災拠点として～発災対応型防災訓練の取組～

【取組概要】

- 発災時に大勢の避難者が集まることが想定される避難場所のため、テント設営や炊き出しなどの実践的な避難者受入れ対応訓練を実施
- 発災時に災害時要援護者を円滑に救助できるよう名簿を作成
- 団地内の狭い階段で活用可能な布製担架を活用した救出訓練を実施
- 白鬚東地区防災拠点における災害時行動マニュアルを作成、発災時に迅速な対応ができるように連合会内での共通認識を形成



災害時行動マニュアル



防災施設の視察の様子



白鬚東地区纏のモニュメント

大崎ウエストシティタワーズ自治会（品川区）

「地震災害用ハンドブック」の作成 ～高層マンション内の防災対策とコミュニティづくり～

【取組概要】

- 自治会と管理組合が協力して、独自の「地震災害用ハンドブック」を作成。災害時の安否確認方法や、備蓄非常食糧の配給方法、提出用書式などを定め、住民に個別に説明しながら配付
- 災害時に居住者から協力を得るため、居住者が取得している資格・特殊技能・経験・得意作業等の「震災時協力プロフィール表」の提出を依頼
- 桜祭りや七夕など行事を多く実施し、住民コミュニティの構築に努める



マンホールトイレと災害対策用造水機



エレベーターからの救出訓練



地震災害用ハンドブック

久が原東自治会（大田区）

「高齢者・おてつだい隊」と防災マップで 災害時要援護者を支援

【取組概要】

- 「高齢者・おてつだい隊」を発足し、日常生活の「チョットおてつだい」活動を通じて、防災活動の災害時要援護者支援の基礎づくり
- 「要援護者支援マップ」を作成し、地域内の状況把握と災害時避難支援計画の作成などに活用。自治会加入の如何に関わらず、戸別訪問で事業趣旨を説明して要援護者をリスト化
- 市民消火隊、ミニポンプ隊を結成し、月1回程度定期的に訓練



住民のスタンドパイプ操法訓練



市民消火隊による消火訓練



住民の放水訓練

糀谷地区自治会連合会（大田区）

自治会・町会の地域力を結集した「防災のまち糀谷」

【取組概要】

- 「防災のまち糀谷」をスローガンに、10自治会・町会が連携
- 地域全体で防災意識・防災行動力の向上を図るため、毎年同日同時刻に各自治会・町会が防災訓練を実施
- 「糀谷地区避難所運営協議会連携会議」では、地域全体で学校避難所を防災活動の拠点とする取組（『学校防災活動拠点化事業』）を推進
- 連合会主催の運動会では「防災バケツリレー」を実施



一斉合同防災訓練



避難所運営協議会連携会議



防災バケツリレー

多摩川ハイム自治会（大田区）

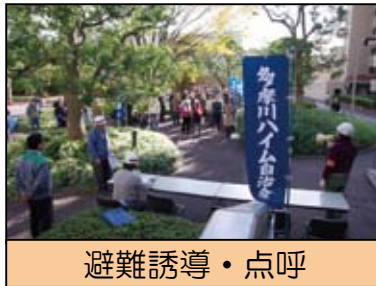
「元気カフェ」や「歌声喫茶」で 災害時要援護者と顔の見える関係づくり

【取組概要】

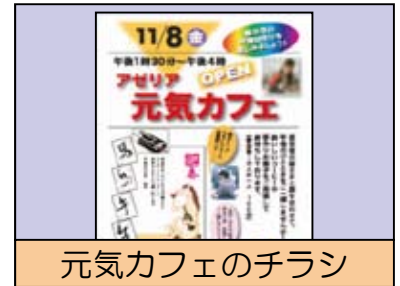
- 避難階段ごと、各階ごとに安否確認の確認者を複数定め、体制を強化
- 避難階段ごとの班で年1～2回「顔合わせの会」や「昼食会」を開催し、顔の見える関係を構築
- 居住者が有志で自身の職業から各分野の有識者として集まり、防災委員会を結成。住民への講習会講師などに協力
- 高齢者と顔の分かる関係を築くため、毎月1回「元気カフェ」を、隔月で「歌声喫茶」を開催



隔壁板破壊訓練



避難誘導・点呼



元気カフェのチラシ

山王三・四丁目自治会（大田区）

実践的な防災体制の構築と「防災絵本」などの啓蒙活動

【取組概要】

- 街頭消火器を活用した初期消火のほか、5か所の各防火水槽に消火ポンプを配備し、消火隊を編成。消火ホースを充実配備し、一人でも消火活動ができるよう独自の操法訓練を実施
- 地域班ごとの班長に加えて、地域福祉委員を定め、災害時要援護者への二重の見守り体制を確保。区からの要援護者リストに基づき年1回訪問
- オリジナルの防災絵本や音楽CDの作成、防災絵本の自治会劇団による上映など、子供など幅広い世代への啓蒙活動を実施



消火隊の訓練



夜間の消火訓練の様子



防災マップ

天沼地区町会連合会（杉並区）

地区の町会が連携した地域ぐるみの防災対策

【取組概要】

- 連合会が一体となり災害に立ち向かうという意識が非常に強く、36年間継続して8町会合同の防災訓練を実施。模擬消火栓によるスタンドパイプ訓練などを行う。訓練には「中学生レスキュー」も参加
- 毎月定例的に開催する8町会合同の町会長会議に消防・警察・震災救援所の責任者が出席し、地域防災・治安に関する諸問題などを話し合う
- 8町会合同のホームページで活動を広報。ホームページ上の各町会のマップに消火器・消火栓などの情報を順次掲載中



はしご車体験



救出救助訓練



8町会合同のホームページによる広報

高島町会、高島平三丁目町会、 高島平三丁目自治会、赤塚河岸町会（板橋区）

中学生と地元町会・自治会が連携した 災害時要援護者支援と避難所運営の取組

【取組概要】

- 地域の中学校を中心とした周辺4町会・自治会が関係団体などと連携し、中学生を含めた防災活動を展開、平成21年から合同で訓練を実施
- 訓練の実施に向けて実行委員会を複数回開催。4町会・自治会と中学校のほか、NPOボランティア団体（障害者支援団体）や民生委員などが参加
- 合同訓練では、「守られる側から地域防災の担い手に」をスローガンに中学生と地域住民が一体となって災害時要援護者への避難誘導や避難所開設訓練を実施



町会旗を掲げ先導する中学生



車椅子で要援護者を避難誘導



「避難所運営協議会」の開設

桜台親和町会（練馬区）

みんなで助かろう・助けよう ～防災行動力を向上し減災を目指す～

【取組概要】

- 木密地域が混在する地域のため、定期的に軽可搬ポンプの操法訓練を実施。区の防災コンクールにも参加
- 町会内組織のレスキュー隊による図上訓練や安否確認訓練を実施
- 地域の中学校の近隣地域合同防災訓練に毎年協力参加。生徒が行う情報収集活動や担架搬送訓練のサポートを担当
- 毎月第1日曜日に、近隣の自治会と協力し、無線通信訓練を実施



防災コンクール初動措置の部



初期消火訓練



近隣地域合同防災訓練

田柄町会（練馬区）

私設消火栓を活用して実施する町会合同防災訓練

【取組概要】

- 地域には都内最大の私設水道（私設消火栓）があり、訓練では、丁目毎に設置している私設消火栓に参集し、放水体験を実施。その後、約500名が参加する町会合同の総合訓練を実施
- 総合訓練では、起震車体験・初期消火・煙体験・応急救護訓練（AED）・幼児向け防災教育用カードゲーム・消防少年団による初期消火演習などを実施
- 地域内の小学校で行う「学校防災訓練」では、田柄町会会員が訓練指導で協力



応急救護訓練



学校防災訓練「私設消火栓放水体験」



学校防災訓練「バーナー操作訓練」

上久保町会（練馬区）

ミニ防災井戸を活用した初期消火能力の向上

【取組概要】

- 木密地域などが混在する地域のため、発災対応型防災訓練を継続して実施し、初期消火能力を向上
- 多くの住民がD級ポンプを操作できるよう、頻繁に訓練を実施
- 町会内にある7か所の家庭用井戸を「ミニ防災井戸」に指定し、区と協定を締結。「ミニ防災井戸」を使ったD級ポンプ訓練も実施
- 平成25年には、都立高校などと連携し、生徒への初期消火の指導を行い、防災教育を支援



軽可搬ポンプ操法大会



ミニ防災井戸



都立高校生徒への指導

綾瀬東町会（足立区）

「心構え」「いざというときの行動」「日頃の備え」
を軸に、地域防災力向上を目指す

【取組概要】

- 町内全住民への意識啓発のため防災冊子「守ろう わが家 わが綾瀬」を作成。冊子には地域情報なども掲載し、町会未加入者を含め全戸配布
- 完成した冊子を元に、避難所など町内の防災設備を、町会役員を中心に実地確認
- 防災対策の充実に向けて、平成24年に防災組織を見直し。防災組織図の作成と緊急連絡体制の構築で発災に備える



防災冊子「守ろうわが家わが綾瀬」



避難所探訪



避難所運営訓練

中川地区安全対策会議（防火防災部）（足立区）

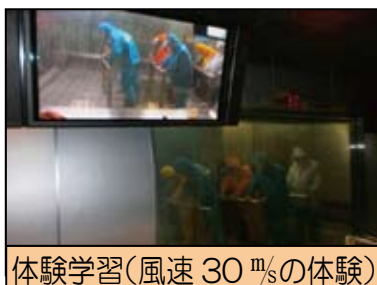
私たちの力で安全・安心なまちづくり
～防災マニュアル作成やまち歩きなどを通じて～

【取組概要】

- 14町会・自治会が協力して総合的に安全・安心に取り組むため設立
- 防火防災部では、設立当初は地域住民の意識啓発などの活動を実施
- 東日本大震災を教訓に作業部会を設置し、地域の特性を反映させた防災マニュアルを作成、14町会・自治会の全会員に配布
- 地域の液状化や防災マップの作り方などをテーマに講習会を開催
- まち歩きをして避難経路、危険箇所などを確認。終了後に順次、町会・自治会ごとの防災マップを作成、配布



防災マニュアル



体験学習(風速 30 m/sの体験)



まち歩き

柴又地区連絡会（柴又北野町会、 ガーデンプラザ柴又自治会）（葛飾区）

町会、マンション、学校、PTAが 連携して取り組む防災活動

【取組概要】

- 防災活動に熱心に取り組んでいた町会とマンション自治会が、学校、PTA、行政機関などと連携して地区連絡会を開催。実践を通じて地域防災力を向上
- 小学校で避難所生活訓練を実施し、避難所開設の流れを整理
- 避難者名簿を速やかに作成するためのカードを作成、訓練での検証やアンケート結果により改良
- 災害時要援護者対策をテーマに対応項目を洗い出し、安否確認マグネットシートや改良を加えた避難者カードを使って避難訓練を実施



避難所生活訓練



避難所受付訓練



安否確認マグネットシートの掲示

東部地区連合町会（八王子市）

各町会の組織力を結集した大規模な防災訓練

【取組概要】

- 地区の町会が合同で防災訓練を実施。平成25年度で17回目
- 平成22年から発災対応型訓練を実施
- 平成25年は体験型訓練や新たに給水訓練も取り入れ、約600名が参加
- 訓練では、「災害時要援護者カード（個別プラン）」を活用した安否確認及び避難誘導などを実施
- 近年は近隣町会も訓練に参加し、共助の輪を拡大



給水訓練



瓦礫からの救出訓練



要援護者の避難誘導

りんりんの会（武蔵野市）

ご近所同士の安否確認 ～命を守る助け合いの取組～

【取組概要】

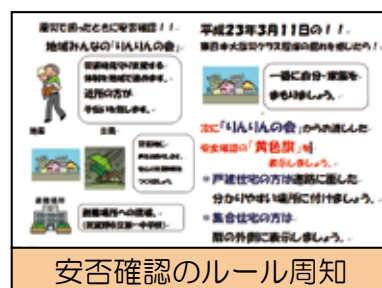
- 各戸に黄色い旗を配布し、災害時に無事の場合は玄関などに掲出し、掲出がない家庭に声掛けを行い、安否を確認する仕組みを構築
- タウンウォッチングなどを通じて、地域の危険箇所、消防設備等を確認
- 近隣中学校の避難所運営組織の設立に尽力。同地区の他の自主防災組織等のモデル的な存在としてリード
- 毎月1回の回覧板を通じて、防災知識や安否確認のルールなどを周知



炊き出し訓練



救護用タンカー



安否確認のルール周知

ルネ吉祥寺防災会（武蔵野市）

被災時におけるマンション内での生活継続への取組

【取組概要】

- 発災後、避難所に行かずマンションで生活継続できる仕組みづくりを目指す
- 発災時を想定した安否確認訓練や、エレベーター閉じ込めを想定した救出訓練などを実施
- 訓練前に、災害時にマンションで想定される被害などの勉強会を実施
- 発災時にはマンションの災害対策本部を立ち上げ、被害を調査し、対応を協議する態勢を整えるため、定期的な会議を実施し、会報を全住戸に配布



工具等の使用訓練



炊き出し訓練



訓練前勉強会

井口協和会（三鷹市）

オリジナルの防災マップと避難訓練 ～住民目線で避難行動を考える～

【取組概要】

- 災害時に地域住民がとっさに避難できる身近なオープンスペースを、町会独自の避難場所として16か所選定
- 各避難場所のリーダーとして、町会役員をあらかじめ指名し、災害時の避難行動を円滑にする体制を構築
- 避難場所や備蓄倉庫などを記載した防災マップを作成し、住民へ周知
- 防災マップを基に地震発生を想定した避難訓練も実施



避難場所へ集合



避難所訓練の様子



防災マップ

沢井二丁目自治会（青梅市）

無線機とソーラーパネル電源と連絡体制により 安否確認を確実に実行

【取組概要】

- 発災時の早期の安否確認のため、トランシーバーを18台配置
- ソーラーパネルの自主電源による無線中継局を役員らが手作りで整備
- 毎月1回トランシーバーの定期通信訓練と点検を実施
- 黄色のタオルを玄関に掲示する安否確認訓練を実施
- 10世帯ほどの隣組で安否確認を行い、地区連絡班を通じて対策本部に報告する仕組み
- 訓練は子供会と連携して実施し、次世代へ継承



安否確認用トランシーバー



無線中継器設置状況



子供と連携し、安否確認訓練

相原中村町内会自主防災隊（町田市）

隣近所のネットワークづくりから生まれた 「顔の見える防災」

【取組概要】

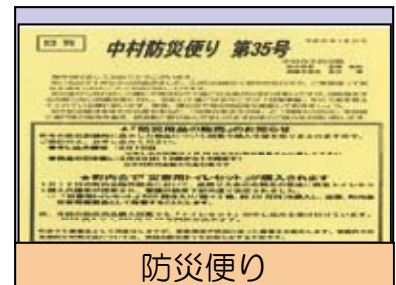
- 物資などのハード面よりも住民のつながりなどソフト面を重視した組織づくりを目指す
- 組織を10～15世帯からなる24の班に分け、各班で班内の世帯員の情報を「防災カード」にまとめる
- 建築・水道・電気・土木など専門の技術を持った町内会員による応急対策チームを設け、災害時に安全に対応できる体制を確保
- 毎月定例で防災の勉強会を開催し、本部員のスキルアップを図る



救出救護訓練



応急救護訓練



防災便り

前原町四丁目町会自主防災会（小金井市）

「災害時行動マニュアル」で、自ら行動し、地域を守る

【取組概要】

- 災害時の活動方針を定めた「災害時行動マニュアル」を、作業チームを編成して作成
- 災害時に本部体制を補完し、部・班組織を超えて活動する「行動隊」を募集。5専門部に120名が登録
- 電器・ガスの取扱いの広報活動や、消火器の有無やメンテナンス等の調査・普及など、初期消火の重要性をPR



災害時行動マニュアル



電器・ガスの取扱いの広報活動



避難者の受付

貫井南町東自主防災会（小金井市）

守りたい人を守る地域づくり
～災害時避難行動要支援者支援や初期消火などの取組～

【取組概要】

- 市内で最初の災害時避難行動要支援者支援事業のモデル地区
- 対象者1名に対し、2名の支援者をコーディネートし、個別支援プランを作成するなど、災害時における避難支援体制を構築
- 市より配置された可搬ポンプや、独自に購入したスタンドパイプ、レスキューツールを活用できるよう、定期的に訓練を実施
- 避難所となる中学校との連携や初動体制の確認をメニューに取り入れた防災訓練を実施



災害時避難行動要支援者に関する講習会



可搬ポンプ取扱訓練



応急救護訓練

三沢台自治会自主防災会（日野市）

継続的な防災訓練や防災マップの更新で
災害に強いまちづくり

【取組概要】

- 防災訓練を長年にわたり毎年実施。消防署と連携した通報訓練や救急訓練のほか、独自に避難誘導訓練や炊き出し訓練などを実施
- 住宅配置図を2年毎に更新。消火器、公衆電話、給水施設などの様々な防災設備を落とし込み、全会員に配布して、防災マップとして活用
- 月1回防災会会議を実施。会議録は隔月発行の「自治会ニュース」に掲載して住民に周知。会議の前には、無線機交信テストを実施



応急救護訓練



配給訓練



自治会夏祭りの応援

青柳一丁目地区災害時要援護者支援協議会（国立市）

地域をリードする災害時要援護者の避難支援活動

【取組概要】

- 災害時要援護者避難支援事業のモデル地区として、平成24年に発足
- 災害時要援護者及び支援者を募集・登録し、要援護者1人に支援者3人を割り当て
- 災害時には、支援者があらかじめ割り当てられた要援護者の安否確認と避難所への避難支援を行う仕組み
- 3カ月に1度程度、安否確認訓練などを実施。市総合防災訓練にも参加
- 定期的に会議を実施、支援体制づくりや訓練計画などについて話し合い



安否確認訓練（安否情報受付）



安否確認訓練（受付用紙）



会議の様子

銀行町親和会（狛江市）

継続的な防災訓練や地域の資源を活用した、住民同士の強い結びつきを目指した関係づくり

【取組概要】

- 緊急時災害チームを編成し、町会内での被害状況や安否確認、避難行動支援などを行える体制を構築
- 町会員の敷地を避難場所として指定したり、井戸の所有者や地元企業との災害時の協力連携を調整するなど、地域の資源を活用
- 毎年3月に市や消防署と連携した防災訓練を実施。平成25年には、新たに整備された公園の防災設備を使用して訓練を実施



歳末警戒パトロール



炊き出し訓練



公園の防災設備

馬引沢自治会（多摩市）

文化・スポーツ活動を通じて 助け合える環境を醸成し、地域防災力を向上

【取組概要】

- スポーツ大会や文化活動を通じた交流会で、いざという時に助け合える環境づくり
- 毎春に自治会防災訓練を、毎秋に周辺自治会などとの合同防災訓練を実施し、幅広い年齢層が参加
- 自治会主催で救命講習（受講料の半額を自治会が負担）を毎年実施。自治会館にAEDを設置
- 定期的に防災広報誌を発行、東日本大震災の体験談や大島町土砂災害でのボランティア体験談などを掲載、地域住民の防災意識を向上



自治会活動紹介のリーフレット



救急救命講習会



避難所運営訓練

平尾分譲住宅自主防災組織（稲城市）

住民で作上げた安否確認の仕組みと防災資機材の活用

【取組概要】

- 安否確認の仕組み「黄色い旗作戦」を独自に考案し、防災訓練で実践
- 5か所の消火栓付近に「消防ホース格納箱」を設置し、ブロックごとのミニ防災訓練で、実際に消火栓を使って放水訓練を実施
- 災害時に地域で防災本部を設置した場合に備え、災害模擬演習を定期的を実施、発災時の行動のシミュレーションを体験
- 災害時に水道の供給が遮断された場合に備え、東京都住宅供給公社と覚書を締結。受水槽から直接飲用水が取水できるよう、接続器具と給水栓を配備
- 救命処置がより迅速、的確に行えるようAEDを地区内3か所に設置



消防ホース格納箱



黄色い旗作戦



受水槽からの応急給水

荒屋敷自治会（西東京市）

まちぐるみで長年にわたり防災活動を継続

【取組概要】

- 「荒屋敷こどもまつり」を30年以上毎年実施。その中で、初期消火訓練や起震車体験などを行い、若い力を育成
- 「大災害対応の基本的指針」及び「発生時の行動基準」を策定し、隣近所の助け合いについて、班ごとに具体的な方法や手立てを普段から話し合うように努めている
- 非常用品の備え、家族の安否確認方法、防災訓練への参加などの話題を折に触れて出し合っている
- 32年間、自ら火事は起こさないという意気込みで年末に火災予防警戒を継続実施



荒屋敷こどもまつり



消火器的当てゲーム「よ〜く狙って」



歳末防火防犯警戒活動

部門Ⅱ 地域住民と地域コミュニティ・事業者等との連携

区市町村名	団体名	取組内容
港区	麻布小地区防災協議会	地元小学校と「親子で参加防災訓練」
品川区	東親会	大規模町会における地域防災連携
杉並区	西宮中学校震災救援所運営連絡会	震災救援所運営のための各種マニュアルの整備
杉並区	馬橋小学校震災救援所運営連絡会	木密地域における震災救援所運営の取組
北区	田端地区防災会議	自分たちのまちは自分たちで守る！ ～田端地区防災運営協議会の発足～
板橋区	宮元町会	災害時要援護者の安全対策とホームページでの活動発信の取組
葛飾区	特別養護老人ホーム西水元ナーシングホーム、西水元塚谷町会	社会福祉施設と町会の災害時相互応援協定に基づく防災訓練
立川市	立川市自治会連合会	『絆』カードによる災害に強い地域づくりの取組
武蔵野市	南町防災ネットワーク	「ティーパーティ」から始まった防災コミュニティづくり
昭島市	コミュニティ協議会 まちづくり昭島北	高層マンションが連携して取り組む近助の精神と地域の絆づくり
調布市	第三小学校地区まちづくり協議会 (旧名称 上石原まちづくり協議会)	町会、PTA、企業などが連携して行う防災活動
あきる野市	多西地区防災・安心地域委員会	多様な団体との協働による避難所運営などの取組

麻布小地区防災協議会（港区）

地元小学校と「親子で参加防災訓練」

【取組概要】

- 小学校の子供引渡し訓練に合わせて、「親子で参加防災訓練」を12年前から実施。応急救護などのほか、救助犬のデモンストレーションも実施
- 地区内2ブロックそれぞれで避難所運営マニュアルを作成。都内有数の繁華街があるため、治安悪化なども想定し、地域内事業所等も参加して作成
- 地区内警備会社と平時の防災訓練で連携を図り、災害時の警備協力体制を依頼
- 小学校区域の防災マップを地図ソフトを活用して作成



子供引渡し訓練



救助犬のデモンストレーション



協議会の会議の様子

東親会（品川区）

大規模町会における地域防災連携

【取組概要】

- 町会規模が大きく、2つの避難所に分かれるため、各避難所で他町会と連携して活動するべく避難計画を準備。毎年1回、避難所訓練を実施
- 「東親会夏まつり」などの地域イベントで、NPOや地域の社会福祉協議会、事業所と協力し、幅広く防災普及啓発活動を実施
- 青少年部がFacebookを活用し、若い世代への訓練参加を促進
- 区民消火隊やミニポンプ隊の放水訓練を毎月1回実施



他町会との合同避難所訓練



夏まつり防災普及啓発活動



C級ポンプ操法演習

西宮中学校震災救援所運営連絡会（杉並区）

震災救援所運営のための各種マニュアルの整備

【取組概要】

- 誰が駆けつけても震災救援所の初動対応ができるよう、各種のマニュアルを作成
- 最初動マニュアルや、学校施設安全点検、初動受付誘導、要援護者支援安否確認などのマニュアルを作成
- 各種マニュアルの有効性確認のための訓練を実施、訓練結果をフィードバックし、マニュアルを改訂
- 杉並区中学生レスキュー隊の西宮中学校の隊員と連携し合同訓練



馬橋小学校震災救援所運営連絡会（杉並区）

木密地域における震災救援所運営の取組

【取組概要】

- 年2～3回震災救援所訓練を実施、消火器訓練や防災の講演会も同時開催
- 訓練案内は全戸配布し、訓練周知と合わせて、震災時の火災への取組の重要性を周知
- 訓練参加が難しい乳幼児母親世代を対象に児童館で防災懇談会を実施
- 携帯電話やWi-Fiを使い、ネットを利用した通信・安否確認訓練を実施
- 消火器やC・D級ポンプを用いた初期消火訓練を年2～3回程度実施



田端地区防災会議（北区）

自分たちのまちは自分たちで守る！ ～田端地区防災運営協議会の発足～

【取組概要】

- 田端地区内の自主防災組織の集合体として、地域の防災活動を実施
- 毎年1回、同地区10町会合同で防災訓練を実施
- 各自主防災組織が地域特性に応じた訓練を実施
- 各自主防災組織が災害時要援護者名簿を毎年受領し、支援に取り組む
- 地域の様々な団体と連携して防災体制を構築する必要性から、平成25年度に、田端地区防災会議を発展させ、地域の関係機関や団体（児童関連施設・教育機関・建設会社・介護施設など）が参加する田端地区防災運営協議会を発足



10町会合同防災訓練(町会ごとに整列)



10町会合同防災訓練(体育館に一時避難)



10町会合同防災訓練(避難所の割り当て)

宮元町会（板橋区）

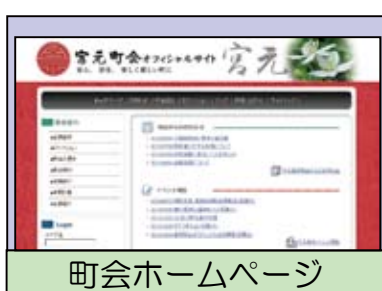
災害時要援護者の安全対策と ホームページでの活動発信の取組

【取組概要】

- 防火防災講習会を開催し、災害時要援護者も交えてディスカッションやグループワークを実施
- 消防署と連携し、町会独自に作成した災害時要援護者名簿を活用して、要援護者宅を訪問し、火災予防対策や家具転倒落下防止を助言
- 町会独自のホームページを作成し、町会の防災活動を広く発信
- 発災時に消火・救助などに必要な資機材や人員を確保するため、地域の建設会社などと「災害時共助に関する協定」を締結



宮元町会総会



町会ホームページ



避難者受付訓練

特別養護老人ホーム西水元ナースングホーム、 西水元垵谷町会（葛飾区）

社会福祉施設と町会の 災害時相互応援協定に基づく防災訓練

【取組概要】

- 平成13年に、施設と町会との間で災害時相互応援協定を締結。以後毎年継続的に訓練を協力して実施
- 夜間の発災を想定し、施設の自衛消防組織と町会員が連携して、通報訓練や初期消火訓練、安否確認訓練、救出・救助訓練などを実施
- 訓練後は自衛消防組織、町会、消防署、区が参加する「防災委員会」を開催し、訓練の反省や意見交換を実施



通報訓練



簡易担架搬送訓練



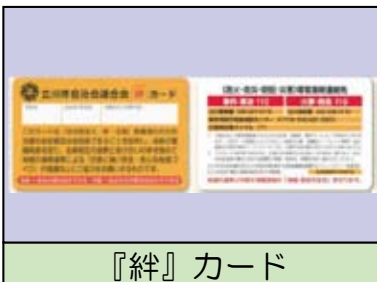
訓練後の防災委員会

立川市自治会連合会（立川市）

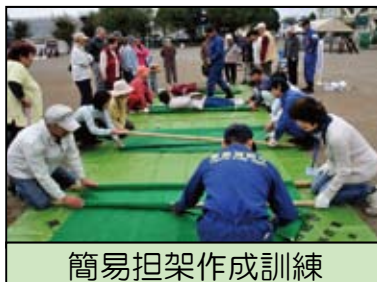
『絆』カードによる災害に強い地域づくりの取組

【取組概要】

- 地域のつながりを強化し、「災害に強い安全・安心な地域づくり」を目的として、『絆』カードを発行し、自治連加盟自治会の会員各世帯に配布
- カードには、自助・共助の説明や、災害時の緊急連絡先などを掲載
- 市内企業・商店と連携し、カードの提示で「優待サービス」が受けられる仕組みを設け、会員が常日頃から所持する工夫により防災啓発を図る
- 自治会・町会と小中学校やPTA、警察・消防など、多様な団体と連携した「地域防災訓練」を、自治連12支部ごとに毎年開催



『絆』カード



簡易担架作成訓練



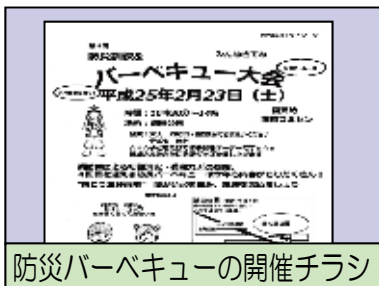
初期消火訓練

南町防災ネットワーク（武蔵野市）

「ティーパーティ」から始まった 防災コミュニティづくり

【取組概要】

- 福祉の会、青少年問題協議会、コミュニティ協議会が地域の防災について話し合う「南町防災ティーパーティ」を開催、防災活動を本格的に開始
- 災害時に地域内の病院や福祉施設に集まる傷病者や避難者に対する対応の訓練など、医療・福祉施設と連携した訓練を実施
- ナイトウォークやウォーキング団体と連携したタウンウォッチなど、工夫を凝らしたまち歩きを実施
- 防災バーベキューなどの楽しみながら学べるイベントも開催



防災バーベキューの開催チラシ



消火訓練



炊き出し訓練

コミュニティ協議会 まちづくり昭島北（昭島市）

高層マンションが連携して取り組む 近助の精神と地域の絆づくり

【取組概要】

- マンションの自治会と管理組合、店舗会が近隣の小中学校との避難所運営や災害時、近所で助け合う地域を目指し、共に協議する組織として発足
- 防災備品の整備や研修会、合同防災訓練などを実施
- 安否確認ステッカーを全世帯に配布し、合同防災訓練でステッカーをドアに貼り意思表示を行う訓練を実施
- 合同防災訓練には地元中学生も参加、安否確認や救出・救助を体験
- 広報紙を年5回発行し、住民の防災意識の向上を図る



安否確認ステッカー



中学生による安否確認声かけ訓練



広報で地域住民に参加を呼びかける

第三小学校地区まちづくり協議会 (旧名称 上石原まちづくり協議会) (調布市)

町会、PTA、企業などが連携して行う防災活動

【取組概要】

- 小学校地域を中心として、子供会やPTA等の地域住民をはじめ地域の企業なども参加した合同防災訓練を平成11年から毎年実施(平成25年度は約600人が参加)
- 毎年実施することにより、1年に1回災害の怖さを思い出すようにすることを第一の理念としている
- この理念のもと、訓練前の広報活動に力を入れている。地域住民にチラシを全戸配布、学校のPTAや子供会を通じた児童家族への周知を実施
- まちづくり広報誌などを通してPRすることで、地域に根ざした防災訓練として定着



子供たちが参加した放水訓練



子供たちによるバケツリレー



全戸配布の防災訓練チラシ

多西地区防災・安心地域委員会 (あきる野市)

多様な団体との協働による避難所運営などの取組

【取組概要】

- 発災時に迅速な対応が取れるよう安否確認旗を各戸配布
- 平常時より各世帯の安否確認票を作成し、安否確認訓練を実施
- 避難所運営マニュアルの作成に参加し、実際の運営を想定した避難所運営訓練や避難所生活体験を通じてマニュアルを検証
- DIG(災害図上訓練)を行い、地区内の危険性の再確認や、災害時要援護者等の安否確認を想定したシミュレーションを実施



安否確認訓練(安否確認旗)



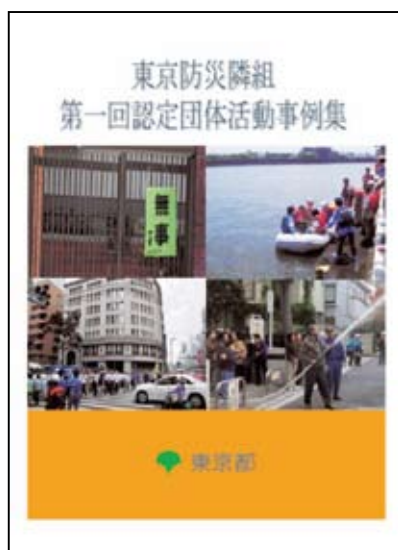
避難所生活訓練(間仕切り設置)



防災コンクール

東京防災隣組認定団体活動事例集 バックナンバーのご案内

東京防災隣組第一回認定団体活動事例集



第一回認定団体の36団体の活動を紹介しています。
きめ細やかな安否確認や、
地域特性を踏まえた訓練、
地域イベントを活用した防災の啓
発など、
様々な取組を紹介しています。
(平成24年4月発行)

東京防災隣組第二回認定団体活動事例集

第二回認定団体の64団体の活動を紹介しています。
木密地域や大規模集合住宅での
防災対策や、
若い世代の参加を促す取組、
病院や福祉施設との連携など、
幅広い活動を紹介しています。
(平成25年4月発行)



★こちらのHPで是非ご覧ください★

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/tonarigumi/index.html>

東京防災隣組

検索





登録番号 (25) 131号

平成26年4月 発行 東京防災隣組第三回認定団体活動事例集

編集・発行 東京都総務局総合防災部防災管理課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03 (5388) 2549

印刷所 敷島印刷株式会社
熊本県宇城市松橋町豊崎1959番地
電話 0964 (32) 7272

